



令和 6 年 5 月号
編集発行人
京都府亀岡市内丸町 15
亀岡市立亀岡小学校
飛田祥声
印刷所 株式会社

『感覚の度合いを学ぶ』



学校長 飛田 祥

早いもので、令和六年度が始まって一か月が過ぎました。一年生も徐々に学校生活に慣れてきまし...

か、どんな言葉を選択すれば嫌な思いにさせずに済むのか等を考えなければなりませんし、受け取る側は、言葉を発する側の意図を汲み取ることをして...

P.T.A会長就任にあたり
亀岡小学校令和六年度P.T.A会長 浅田 信仁
保護者の皆様におかれましては、早稲育P.T.A活動に理解と協力を賜りまして誠にありがとうございます...

Table with 15 columns (labeled 1-15) and rows for school activities. Includes dates from 31st to 1st and details of events like 'P.T.A. Meeting' and 'Sports Day'.

5月行事予定表

学校行事

### いちねんせいになつて たのしみなこと

**いちねん**  
ぺんきょうをいっばいすることがたのしみだよ。たいくがたのしそうだ。おねえちゃんみたいがんばりたいな。

**いちねん**  
こくごのぺんきょうがのしみだよ。ともだちとだいすきなどちばうるをやりたいな。

**いちねん**  
たいくがたのしみだよ。はじめてさくらがおかであそんでたのしかつたな。またあそびたいな。

**いちねん**  
さっかーせんしゅになれるように、さっかーとぺんきょうをがんばりたいな。

**いちねん**  
がっこうになれるまできんちようしたけど、なれてきて、たのしい。ぺんきょうががんばりたいな。

**いちねん**  
ぺんきょうががんばりたいな。とくにさんすうががんばりたいな。

### 二年生でがんばりたいこと

**二年**  
ぼくは、かん字をめっちゃきれいに書いて、かん字テストで百てんをとりたいです。

さんすうもとくいになって、いっばいわかるようになって、けいさん大かいでひゃくてんをとりたいです。

なわとびで、二じゅうとびができるようになりたいです。

ずこうでいっばいなにかつくつてみたいです。

**二年**  
わたしは、こくごをがんばりたいです。りゆうは、かん字をきれいにかけたいからです。

さんすうでは、かけざんをがんばりたいです。

一年生のためにやさしくしてあげたいです。りゆうは、一年生のときに、二年生にやさしくしてもらったから、つぎは、わたしたちが、一年生にやさしくしてあげたいからです。

**二年**  
ぼくは、さんすうをがんばりたいです。どうしてかという、さんすうをすきになりました。

つぎにがんばりたいことは、一年生のお手本になりたいです。どうしてかという、かっこいい二年生になりたいからです。

下校をがんばりたいです。どうしてかという、一年生をあんぜんにかえ

らせたいからです。

**二年**  
ぼくは、さんすうのひきざんをがんばります。さんすうのノートにじぶんでたくさんもんだいをかいてひきざんがはやくできるようにしたいです。

**二年**  
わたしは、ずこうでつくるのをがんばりたいです。じぶんのながてなぺんきょうやたいそうをがんばりたいです。がっこうでじぶんができることをがんばりたいです。ながてなものでもがんばってやってみみたいです。

**二年**  
わたしは、おともだちをいっばいつくつておともだちといっばいはなしができるようにがんばりたいです。一ねんせいのみほんになれるようにがんばりたいです。

### 三年生でがんばること

**三年**  
わたしは三年生でがんばりたいことが三つあります。

一つ目は、「いやなことちようせんする」ことです。理由は、いやなことにもちようせんしたらいつかきつといやなこと好きになって、できることもふえるかなと思つたからです。

二つ目は、「中間休みや、昼休みに外でいっばい遊ぶこと」です。理由は、ふつう私は、中で本やしずかなかんじ

だけど、外で遊ぶのもすきなもので、うんどうしたら、けんこうにも良いので、これからは外で遊ぶ方いきたいと思ひます。

**三年**  
三つめは「大塚先生になれたい」ということです。理由は、大塚先生がはじめてだからです。

**三年**  
ぼくが三年生でがんばりたいことは三つあります。

一つ目は理科・社会です。理由は、まだ知らないことをするのがしんぱいだからです。

二つ目は友だちをふやすことです。理由は会つたことのない人たちとかかわりたいからです。

三つめは、さか上がりです。理由は二年生のときれんしゅうしたけれど、できなかったからです。この三つのことができる三年生になりたいです。

**三年**  
ぼくが、三年生でがんばりたいことは、むずかしいかん字でもいねいに書くことです。理由は、かん字をきれいに書いたらきもちいいし、字もきれいに書いたらうれいからです。二つ目は、音読です。音読をがんばりたい理由は、ぼくは前から本を読むのが大すきだからです。

**三年**  
わたしが、三年生になって、がんばりたいことは、かん字の書きじゆんをおぼえて、そのおぼえた書きじゆん

おりに書く、少しでも、字がじょうずになるかなと思つたからです。  
二つ目にがんばりたいことは、理科としゃ会です。りゆうは、まだはじめてで、分からないことがあります。ただ、がんばってやってみたら、なんとかできそうだなと思つたからです。

四年生でがんばりたいこと

四年生に進級して、自分ががんばりたいことを一人ひとり決意して、作文に書きました。

四年

ぼくは、四年生では、漢字をたくさん習うと聞いたので、しっかりと覚えて漢字テストでまん点を取りたいです。

あとは、体を使うことが好きなので、新しいクラスのみならずとたくさんで遊びたいと思います。

四年

わたしが、四年生でがんばりたいことは、手をいっぱいあげて、発表したいこと、はきはき言うこと、おくられてこないこと、きちんと宿題をやること、早ね早おきをする事、先生の言うことをしっかり聞くことです。四年生もがんばりたいです。

四年

わたしが四年生でがんばりたいことは、二つあります。

一つ目は、四年生からはじまるクラブです。理由は、四年生からはじめてはじまるので、分からないことがあるかもしれないけれど、がんばりたいからです。

二つ目は、てい学年のお手本になることです。理由は、二つあります。一つ目は、中学年の中でも上の立場になるので、お手本になるようにがんばりたいからです。二つ目は、わたしもてい学年のころに、お兄さんやお姉さんのことをまねしてがんばっていたので、次はわたしが見せる番だと思つたからです。わたしよりも下の学年の人たちには、わたしがやったお手本をまねして、かっこいい人たちになってほしいです。

新しいクラスになって、はじめて同じクラスになったり転校生も来てくれたりしたので、そんなみんなとなかよくなつて、今までよりも楽しい一年にしたいです。

五年生になって、頑張りたいことやチャレンジしてみたいこと、「こんな五年生になりたい」などの思いを書きました。

五年

ぼくは、五年生でがんばりたいことが三つあります。

一つ目は、学習です。特に、計算大会と漢字大会は、毎回一発で合格できるように、ふだんから復習や予習をがんばっていきなさい。とくいなこと

は、もつととくいな、苦手なことは、少しづつできるように、毎日の積み重ねを大切にしていきたいです。

二つ目は、亀小のサブリーダーとして、低学年や中学年のお手本になれるように行動することです。例えば、学校のルールをしっかり守ってみんなが気持ちよく過ごせるように心がけたら、困っていたら「大丈夫？」、「どうしたの？」と優しく声をかけて助けたらいいです。

三つ目は、友達と仲良くしたり協力したりすることです。特に、六月にある野外学習では、自分の役割にしっかりと責任をもち、みんなの事を考えて行動できるようにがんばりたいです。

五年

私が五年生でがんばりたいことや目標をしようかいます。

最初に、私だけのスローガンを発表します。それは、「全力で 六年生を支えよう サブリーダー」です。私は、これをテーマに五年生をがんばろうと思ひます。

次に、がんばりたいことをしようかいます。学習面では、まずは自分で考えて、一生懸命に取り組もうと思ひます。生活面では、六年生のサポートをしつつ、サブリーダーとして下級生を引っばつていこうと思ひます。

五年生では全力で何事も挑戦してきたいし、サブリーダーとしてやるべき事をちゃんとやり遂げていこうと思ひます。

ぼくは五年生になって、次に挙げる三つのことをできるようになりたいです。

一つ目は、早寝早起きができるようになります。そのためは、ゲームをやりにすぎないようにしなければなりません。

二つ目は、苦手な科目をこく服したいと思ひます。そのためには、授業をしっかりと聞きたいと思ひます。そして最後の三つ目は、学校生活を楽しまたいと思ひます。

五年

わたしが五年生になりがなりたいことは、学校のサブリーダーとして、一年生から四年生までのお手本になることです。五年生は、学校のサブリーダーで高学年です。なので、自分が正しい行動をとらないと、一年生から四年生がまちがえた行動をとってしまいます。だから、わたし達が正しい行動をしてお手本になれるようにがんばろうと思ひます。

そしてわたしの五年生の目標は、委員会みんなが楽しめるイベントをつくることです。これまでは、五・六年生が考えた企画してくれたりした取り組みやイベントを楽しんできたので、今年自分からイベントを考えて全校のみんなに楽しんでもらいたいと思ひます。

### 六年生でがんばりたいこと

#### 六年

学習面では、成績をもっと上げたいと考えています。そのために、毎日休まず学校に行って、授業やテストをがんばりたいです。

生活面では、家での生活習慣を整えていくことが目標です。ぼくは、早寝早起きが苦手なので苦手なことをがんばりたいです。

また、同級生との関わりでは、あいさつをすること、心を動かす行動をみんな協力することを心がけたいです。下級生との関わりも大切になってくるので、平等に、優しく接することを心がけたいです。

そして、先生や大人の人達に何もかも頼るのではなく、自分で考えて行動することを心がけたいです。

#### 六年

学習面では、どの授業にも全力で取り組み、毎日課題をやり切る力を付けたい。また、分らないことがあっても最後まで諦めずに取り組んでいきたい。

生活面では、いろいろな人と関わりを持てるようにし、仲良くなれるよう自分から行動していきたい。また、下級生などが困っていたらすぐに助けられるようにしていきたいです。

また、同級生との関わりでは、新しいクラスになって馴染むことに時間がかかるかもしれないけれど、自分からあいさつしたり、声かけをしたりして協力したり助け合ったりして過ごして

いきたいです。下級生には、分からないことがあれば「だいじょうぶ」「どうしたの。」と声をかけ、安心して学校生活を送れるよう手助けをしていきたいです。そして、先生方との関わりの中では、どんなときでも誰に対しても敬語で話したり礼儀正しく接したりすることを大切にしていきたいです。

#### 六年

学習面では、積極的に挙手をして学習に前向きに取り組む時間を増やしたいです。

生活面では、「おはようございます。」と言われる前に自分からあいさつをして、返す側ではなく返される側になりたいです。

一学期には、同級生とは困っている人がいたら声をかけてたくさん協力できるようにしていきたいです。下級生には、学校のルールを教えてあげたいです。特に一年生は学校のルールを全て分かりきっていないので、六年生として教えてあげたいです。先生方とは、礼儀正しく関わりたのまれたことがあれば、すぐに実行できるようにしていきたいです。

### 一人ひとりのニーズに合わせた指導・支援

#### 特別支援教育部

本校は、特別支援教育を中心とし、一人ひとりの子ども達を受け入れ、大切に、個に応じた指導・支援を行う教育を進めてきています。毎年、入学式において、保護者向け

に伝えている内容と合わせて、本校の特別支援教育についてお話させて頂きます。

本校には、特別支援学級が八学級あり、名前を『さくら学級』と呼び、大切な学級として位置づけています。一人ひとりの子どもに合わせた指導計画を立て、個に応じた指導・支援を行っています。

少ない人数であるため、とても静かで落ち着いた場所です。国語や算数の学習を中心に、『ゆっくり』『じっくり』『その子のペースに応じて』行います。分からないことや質問したいことは、直ぐに聞いて確かめることができ、それが「分かる」「できる」につながっています。他にも体作りや遊びのルール、人との関わり方等の学習をしています。また、『生活単元学習』という教科の枠をこえ、年間を通してテーマをもち、一〜六年生みんなで総合的に学習しています。

さくら学級の友達の中には、体が思うように動きにくく、転びやすい友達や車椅子を使って生活している友達があります。

そこで、年度当初に当たり、今年度も亀岡小学校の廊下及び階段を、全て『かめのゾーン』と呼び、廊下や階段を走ることなく、『静かに』『ゆっくり』右側を歩くように全校児童に呼び掛けています。

更に、本校には、通級指導教室が四教室あり、『ことばの教室』と呼び、本校児童だけでなく、他校からも、ことばや友達とのコミュニケーションに関わる学習を行うために通い、個々の

学びの特徴に応じた個別、小グループ指導を行っています。子ども達の思いや悩みに寄り添って、困りごと相談の解決方法を考えたり、苦手なことにチャレンジしようとする方法を考えたり、得意なことにチャレンジしてレベルアップしたり、個別の指導・支援をし、それが、個の自信ややる気・自己肯定感を高めていきます。

他にも、『ほっとルーム』という静かな場所でも過ごす児童もいます。静かな時間を確保することで、心が落ち着き、冷静に考えることができます。指導者と学習内容を決めて、自分のペースで取り組んでいます。

学習の場所、内容、方法等の学び方は違いますが、『できた』『分かった』『嬉しい』『もっとやりたい』という子ども達の思いは、みんな同じです。

さくら学級やことばの教室だけでなく、各学級の中にも支援や配慮を要する児童がいます。どの児童においても、その子の様子や状態を把握し受け入れ、一人ひとりのニーズに合わせた支援・学級指導を行っています。

ご家庭に置かれなくても、子ども達一人ひとりの良さを認め、子ども達が理解し合い、助け合いながら、楽しく学校生活が送れますよう温かく見守っていただければ嬉しく思います。

本校の特別支援教育の推進に、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

